

## IBM Master Data Management Collaborative Edition on Cloud

本「サービス記述書」は「クラウド・サービス」について規定するものです。適用できる注文関連文書には、お客様の発注に関する価格設定および追加的な詳細情報が記載されています。

### 1. クラウド・サービス

本「クラウド・サービス」は IBM Softlayer でホストされ、基盤となるインフラストラクチャーを管理する複雑さやリスクの負担なしに、オンプレミスで展開される Master Data Management Collaborative Edition (MDM CE) の機能を提供します。

機能には以下が含まれます。

- a. 開発、テスト、ステージングのためのプレインストール MDM 構成、およびエンタープライズ・アプリケーションを通じて事業部門を管理するための実稼働 MDM 環境
- b. バックアップのための、完全にカスタマイズ可能なビルトインのハードウェア・インフラストラクチャーおよびソフトウェア・インフラストラクチャー
- c. 高可用性
- d. VPN を介したすべての「インスタンス」のセキュアな接続性

各エディションの実際のキャパシティは、基盤となるデータ・モデルの複雑さ、および保持されている履歴の量によって左右されるため、IBM はお客様の実装が以下に記載のとおり設定されたサイジングの範囲内に収まることを保証しません。お客様が、選択されたエディションの最適な利用仕様を超過した場合、パフォーマンスの低下が発生する場合があります。

下記の各エディションについて、実稼働および非実稼働 (Dev、QA、およびステージング) インスタンスの構成詳細に関する情報は以下に掲載されています。

<https://public.dhe.ibm.com/cloud/bluemix/managed/mdmce>

#### 1.1 オファリング

お客様は、利用可能な以下のオファリングから選択することができます。

##### 1.1.1 IBM Master Data Management Collaborative Edition on Cloud Small

本「クラウド・サービス」は、仮想サーバー構成にインストールされた MDM CE に加えて高可用性オプション (「データベース層」を除く) を提供するもので、実稼働または実稼働前の運用のための「MDM ハブ」としてふさわしいものです。本「クラウド・サービス」は、最大 250,000 のアイテム、15 人の同時ユーザー、および毎分 200 アイテムのインポート/エクスポート速度をサポートするように設計されています。

##### 1.1.2 IBM Master Data Management Collaborative Edition on Cloud Medium

本「クラウド・サービス」は、仮想サーバー構成にインストールされた MDM CE に加えて高可用性オプションを提供するもので、実稼働または実稼働前の運用のための「MDM ハブ」としてふさわしいものです。本「クラウド・サービス」は、最大 1,000,000 のアイテム、35 人の同時ユーザー、および毎分 600 アイテムのインポート/エクスポート速度をサポートするように設計されています。

##### 1.1.3 IBM Master Data Management Collaborative Edition on Cloud Large

本「クラウド・サービス」は、仮想サーバー構成にインストールされた MDM CE に加えて高可用性オプションを提供するもので、実稼働または実稼働前の運用のための「MDM ハブ」としてふさわしいものです。本「クラウド・サービス」は、最大 5,000,000 のアイテム、75 人の同時ユーザー、および毎分 1,000 アイテムのインポート/エクスポート速度をサポートするように設計されています。

## 2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

IBM のデータ処理補足契約書 (<http://ibm.com/dpa> に公開。「DPA」) のほか、下記リンクの「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(データ・シートまたは「DPA 別表」) にも、「クラウド・サービス」およびそのオプション(処理対象の「コンテンツ」の種類、発生する処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却についての仕様書に関連)に関する追加的なデータ保護情報が記載されています。EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR) が「コンテンツ」に含まれる個人データに適用される場合に、その適用範囲に限り、DPA が適用されます。

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=1CE23B80A6FB11E7B399BC7C1A437D15>

## 3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

### 3.1 サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント(以下「SLA」といいます。)をお客様に提供します。IBM は、下表のとおり、「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。「可用性」は、契約月における分単位の総時間数から、契約月における「サービス・ダウン」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。「サービス・ダウン」の定義、請求のプロセス、サービスの可用性の問題に関して IBM に連絡する方法については、IBM の「クラウド・サービス」のサポート・ハンドブック ([https://www.ibm.com/software/support/saas\\_support\\_overview.html](https://www.ibm.com/software/support/saas_support_overview.html)) に掲載されています。

| 可用性      | クレジット<br>(月額サブスクリプション料金のパーセント*) |
|----------|---------------------------------|
| 99.9% 未満 | 2%                              |
| 99.0% 未満 | 5%                              |
| 95.0% 未満 | 10%                             |

\*サブスクリプション料金は、請求対象月に関して約定した料金です。

### 3.2 テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポート(サポート窓口の連絡先情報、重大度レベル、サポート利用可能時間、応答時間、その他のサポート情報およびサポート・プロセスなど)を参照するには、IBM サポート・ガイド (<https://www.ibm.com/support/home/pages/support-guide/>) の「クラウド・サービス」を選択します。

## 4. 料金

### 4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「取引文書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成への各アクセスを意味します。

### 4.2 リモート・サービス料金

リモート・サービスを使用したか否かにかかわらず、リモート・サービスは購入日から 90 日後に満了となります。

## 5. 追加条件

2019 年 1 月 1 日より前に締結されるクラウド・サービス契約(または同等のクラウド基本契約)については、<https://www.ibm.com/acs> に掲載されている条件を適用します。